歴史的建造物保存・活用のためのファンド形成プロジェクト
プロジェクト代表者：江頭　進

１．プロジェクトの目的・概要

本プロジェクトは、小樽市の歴史的建造物の保存・活用のための資金集めの手段として、クラウドファンディングのシステムを構築することを目的とする。小樽市に多数存在する歴史的建造物や古民家などはこれまでも繰り返し、その活用が提案されてきたが、修復、改良に多額の費用が掛かるために、多くのケースで実行に移されてこなかった。本プロジェクトでは、それらの問題をクラウドファンディングを用いて、市民や小樽のファンより少しづつ寄付を集めることで、この問題の解決を目指す。また、資金を用意することでこれまでばらばらだった市内の歴史的建造物や古民家の保存活動を結び付けてネットワークの強化を促す。

２．具体的な取組内容

1. クラウドファンディングの管理団体としてNPO法人EGA-Oを本学学生と市民の協力で2016年3月に設立。4月27日に設立総会を開催した。

2. NPO法人設立と同時にwebサイトを公開し、活動報告とPRを行っている。

3. 小樽の町の魅力を隅々まで発信し、クラウドファンディングの出資者の母集団を増やすために、EGA-Oでは小樽のプロモーションビデオ「ガオチャンネル」を撮影し、現在まで4本の動画を公開した。さらに10本の動画がすでに撮影され現在、英語字幕を付ける作業に入っている。

4. NPO法人およびクラウドファンディングの運営研修と並行して、クラウドファンディングサイトを構築、2017年3月に完成した。

5. 現在、第1号案件として、小樽市所有の旧寿原邸の修繕計画を小樽市当局と交渉中である。

6. 小樽市総合博物館、北海学園大学の学生と共同で、「路地裏の貌」展示会を企画・実施した（2016/12/23～17/3/31）。

３．プロジェクトの成果及び地域への還元

NPO法人EGA-Oの設立とクラウドファンディングシステムの完成により、COCの補助金終了後も活動を継続できるめどがついた。これにより、小樽市民の歴史資産への意識を、具体的な活動へとつなげていく手段を得た。プロジェクト自体が補助金から自立できると同時に、小樽市における歴史的建造物の保存・活用の運動が各種補助金から自立できる可能性が大きくなったことを意味する。